

No	感染症(PT)	出典	概要
176	ウシ膿ほう性 口内炎ウイルス 感染	OIE Disease Information 19(52) 2006年12月28日	米国における水疱性口内炎 Follow-up report No.14(最終報告): 今回報告終了日-2006年12月26日、 病因の同定-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey、アウトブレイクの初回確定日-2006年8月17 日、アウトブレイクの開始日-2006年8月13日、Wyoming州および他の州において水疱性口内炎陽性の 家屋/アウトブレイクは現在確認されていない。Wyoming州における最後の水疱性口内炎陽性の家屋は 2006年12月19日に検疫から開放された。
177	ウシ膿ほう性 口内炎ウイルス 感染	Oie http://www.oie.int/wahid-prod/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=5294	ベリーズにおける水疱性口内炎 Follow-up report No. 2(最終報告): 開始日-2007年3月1日、アウトブレ イクの確定日-2007年3月14日、報告日-2007年4月24日、前回の発生日-2005年2月25日、病因-水疱性 口内炎(血清型New Jersey)、本報告における新たなアウトブレイクはない。
178	エボラ出血	CDC 2008年1月8日	CDCとウガンダ保健省は、2007年8月から始まったウガンダ西部に位置するBundibugyo地区におけるエボ ラ出血熱のアウトブレイクを報告した。2008年1月3日までに148人が罹患し、37人が死亡した。患者検体 の遺伝子解析により、既知の4つのエボラウイルス株と異なる、新たなウイルス株である可能性が示唆さ れた。確定には更なる研究が必要である。
179	エボラ出血	CDC Outbreak Notice 2008年1月31日	CDCとウガンダ保健省はウガンダ西部のBundibugyo地方におけるエボラ出血熱について報告した。アウ トブレイクは2007年8月には始まっていた可能性があり、2008年1月3日現在、148名が発症し、37名が死 亡している。患者の検体を遺伝子解析したところ、従来の4つのエボラウイルス株とは異なる新規のウイ ルス株であることが明らかとなった。旅行者に患者との接触を避けるなど注意を呼びかけている。
180	エボラ出血	CDC/Travel Notices 2007年12月27日	ウガンダ西部Bundibugyo地方におけるエボラ出血熱のアウトブレイクは早ければ2007年8月に始まった可 能性があるが、2007年12月16日時点で、124例が罹患し、35例が死亡した。患者由来検体の遺伝子解析 により、既知の4つのエボラウイルス株とは異なる新たなウイルス株が示された。CDCは旅行者にエボラ 患者と接触しないようになどの注意を呼びかけている。
181	エボラ出血	Proc Natl Acad Sci USA 2007; 104: 17123-17127	2001-2006年にコンゴ共和国Gabonで死亡した霊長類から分離したザイルエボラウイルスの糖蛋白質 (GP)の遺伝子解析を行ったところ、従来の系統(グループAおよびR)とは異なる新規の系統(グループB) に属した。2003年および2005年にコンゴで発生したヒトでのアウトブレイクで得られたGPもグループBに属 した。1996年と2001年の間に2系統の間で組換えが起こり、組換えウイルスがその後のアウトブレイクの 原因となったと考えられた。
182	エボラ出血	ProMED- mail20071003.3265	2007年10月2日、コンゴ民主共和国保健局は、Kasai Occidental地域における最近のエボラウイルス感染 により、これまで10例が死亡し、確定症例数は25例となったと発表した。更に疑い症例49例が検査中であ る。
183	エボラ出血	ProMED- mail20071020.3423	ガボンFrancevilleのInternational Centre for Medical Research所属の科学者らは最も病原性の強いザ イルエボラウイルスの検体を遺伝学的に分析した。その結果、ガボン/コンゴ民主共和国における野 生の類人猿の死体から分離したエボラウイルスの株(strain B)は、以前のアウトブレイクで感染したヒトか ら分離されたA株とは遺伝学的に異なった新たな系統であり、ウイルスの他の株と遺伝的に交流し、新た な変異型が発生した可能性があることが明らかとなった。
184	エボラ出血	ProMED- mail20071130.3869	保健当局は、ウガンダ西部において16名が死亡し、他に50名が罹患したエボラウイルスは、新規の株で あると2007年11月30日に発表した。最初の症例はコンゴ民主共和国と国境を接するBundibugyo地区にお いて11月10日に報告された。この株では出血はあまり見られず、患者は高熱の後、死亡する。
185	エボラ出血	WHO 2007年9月11日	コンゴ民主共和国の保健省はKasai Occidental地方におけるエボラ出血熱のアウトブレイクを確定した。 検査の結果、エボラウイルスが検出された。疑い症例の検体からはI型赤痢菌も検出された。2007年9月 11日現在、WHOは同地方でのアウトブレイクに関連した症例372例と死亡166例を認識している。
186	エルシニア感 染	Pharma Medica 2007; 25: 171-175	ブタの臓物を食べた後、エルシニアに感染した国内症例2例を報告する。1例は呼吸器感染症に罹患した 例で、Yersinia pseudotuberculosisが検出された。もう1例は急性回腸末端炎と診断された例で、菌の同定 はされなかったが、発症の背景と症状から本菌による感染が示唆された。両症例ともPUFX(プルリフロキ サシン)投与により治癒した。